

労働安全衛生

労働衛生の主な目的は、従業員の安全と健康を保持するとともに、災害および事故を未然に防止することです。

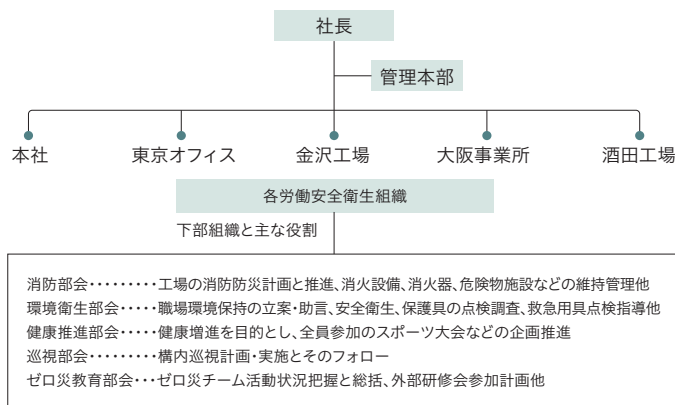
当社グループは、労働安全衛生法および関連法令を遵守することはもとより、従業員の健康増進を推進していきます。その結果、従業員が健康で組織が元気になり、労働生産性の向上に繋がるため、従業員の健康増進や組織風土の改善に取り組んでいます。

当社グループにおける
休業災害件数

0件

(2022年12月～2023年11月)

労働安全衛生の組織体制(大阪有機)



■ 本社

防災訓練（避難訓練、消火訓練）

本社が入っているビル全体の防災訓練が行われ、11階のオフィスから非常階段での避難および消火器による初期消火の訓練が実施されました。



■ 東京

AEDの設置

東京オフィスにAEDを設置いたしました。



■ 大阪事業所

大阪事業所では、年度の初めに年間保安計画を策定し、安全衛生に関わる訓練、教育を実施しています。また、毎月安全衛生委員会を開催し、ヒヤリハット報告からの改善やリスクアセスメントを実施し、災害ゼロを目標に安全職場を目指しています。

総合防災訓練

防火防災の意識を高めるべく、定期的に総合防災訓練を実施しています。



第38回消防技術練成会

消防技術の向上と隊員の士気高揚を図ることを目的に、消防技術練成会に参加しました。日頃の訓練成果を存分に発揮し準優勝となりました。



2023年度保安防災訓練実施結果 (大阪有機化学工業グループ)

対象期間：2022年12月～2023年11月

	金沢工場	酒田工場	大阪事業所	神港有機
総合防災訓練	●	●	●	●
消火訓練	●	●	●	●
消火機具取扱い教育	●	●	●	●
静電気教育	●	●	●	●
緊急時対応テスト (漏洩・臭気・火災・重合など)	●	●	●	
運送業者教育	●	●	●	
消防用設備教育 (消火栓・自火報など)	●		●	●
緊急・救急・保護具教育	●		●	●
毒劇物取扱い教育	●		●	
避難訓練	●			●
衛生教育	●			●
高圧ガス教育	●			
消防用設備教育 (化学消防車)	●			
安全管理手法	●			
がん原生指針教育		●		
BCP-BCM防災事業継続演習		●		
予防規程		●	●	
末端回収訓練			●	
救急及びライフゼム装着訓練			●	
化学物質による健康障害 リスクについて				●

本社、大阪事業所 合同の救命講習

本社、大阪事業所 合同で救命講習(心肺蘇生・AED使用方法)を実施しました。



■ 金沢工場

金沢工場では、安全衛生や防災に係る教育訓練などを、年間保安計画に準じて実施しています。また当工場では、防災安全課を中心に、未曾有の災害に備えた当工場の事業継続と防災に関する具体的な対応に關しての取り組みを計画的に実施しています。

白山野々市防火安全協会の防災訓練と当社防災訓練との共同開催

白山野々市防火安全協会の防災訓練と当工場の防災訓練との共同開催を実施しました。この訓練は危険物等に起因する事故防止と、消防機関と緊密な連絡の基に災害発生時の未然防止を図り協会の安全意識向上を目的としており、より現実味があり緊張感のある訓練が実施できました。



白山野々市消防本部防災学習センター 煙避難体験

火災発生時の部屋を再現した煙からの正しい避難方法を体験し、火災時の適切な行動を学びました。



■ 酒田工場

酒田工場では法順守のもと、無事故無災害を目指し、緑豊かな自然環境の中で労使一体となり安全で働きやすい職場づくりに取り組んでいます。また、年間保安管理計画を通じて、消火訓練、漏洩訓練のほか、4RKYTやリスクアセスメント評価による日常業務に潜むリスクの低減活動を推進しています。

令和5年度 合同防御訓練



酒田地区広域行政組合消防本部、遊佐分署と合同で、屋外タンクからの出火を想定した防御訓練を実施しました。



訓練終了後には、デモ消火器を使用して消火器取扱い訓練も実施しました。

漏洩訓練



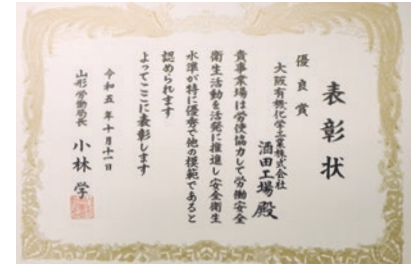
教育訓練として漏洩訓練を実施。有事に備え、普通勤務も交えて危険物漏洩回収操作を学びました。

ライフゼム装着訓練



ライフゼム装着訓練を実施。器具の構造を理解し、緊急時の手順を学びました。

令和5年度 第33回 山形県産業安全衛生大会



令和5年度 安全衛生に係る優良事業場団体に対する山形労働局長表彰において、当社の安全衛生水準が特に優秀と認められ、優良賞を受賞しました。

■ 神港有機

神港有機化学では、新入社員への安全教育を重点項目として取り組んでいます。防災活動では神戸地区の石油コンビナート各事業所の共同訓練や研修会に参加して防災活動も推進しています。

AED救命訓練

AED機器の更新に合わせて、インストラクターによる機器説明のあと、AEDデモ機にて、従業員が実際に使用する場面を想定した訓練も実施しました。実際の緊急時には使用することにためらいがあるとの意見もありましたが、繰り返し心肺蘇生をレクチャーするにつれ、AEDの有効性を認識できた訓練でした。



熱中症予防、ドライアイスジャケット導入

ドライアイス冷却材による高い保冷力と長い効果時間で、深部体温の上昇による発汗の低下や倦怠感など夏場にみられる熱中症予防に効果的で現場作業者からも好評を得ました。

